



竹内滋泰  
市政クラブ

令和7年度の予算編成について

**問** ふるさと蒲郡応援寄附金の使い道について、伝統文化の保存と伝承を支援する項目の追加の可能性について伺う。

**答** 現在、ホームページで公表しているものは、充当金額が大きなものを主に掲載しているが、伝統文化の保存と伝承を支援する項目等の追加については、教育文化に関する事業に該当し、新たに追加する必要なく、活用することは可能である。

**問** 水産業新事業創出実証事業の進捗状況について伺う。

**答** 蒲郡市漁業振興協議会が実施するIT技術を活用したカキ養殖の実証事業について、今年度種苗や中間育成員を合計2万5千個投入し、経過観察を行っている。今後は、稚貝の大きさや投入のタイミング等を検証し、事業化に向けてより安定的な生産方法を目指し、データを蓄積していきたいと考える。



**問** 新棟建設の進捗状況と、令和7年度の予算編成の考えについて伺う。

**答** 7年度予算編成は、5年6月策定の蒲郡市民病院経営強化プランに基づき、実施していく。新棟等整備事業は、5年12月、施工予定者を特定する公募型プロポーザルが不調になったが、この12月議会後、再募集を行う予定である。



八田寿人  
自民党市議員

ラリー三河湾について

**問** 第1回ラリー三河湾の事業効果を伺う。

**答** 会場のラグーナ蒲郡地区、竹島地区では、観光客数が前月比で約30%の増加が見られた。オフシャル運営関係者の宿泊が409名あったほか、メディアへの露出効果としては民放及び地元新聞社だけではなく、WEBメディアやスポーツ紙等にも多く掲載されたと聞いている。

**問** 第2回ラリー三河湾の企画を伺う。

**答** 現在、実行委員会で詳細を検討しているため具体的な内容を示すことはできないが、今回はさらに蒲郡らしいラリーイベントとなるよう創意工夫し、官民連携で開催したいと考えている。



ラリー三河湾

詳細が決定次第、順次発表していきたい。

**問** ラリーファンではない一般の方へ向けたPR内容を伺う。

**答** 認知度をあげていくために年間を通じたアピールを行う必要があると考える。本市関連イベントでもラリーのPRを行い、機運の醸成を図っていききたい。

今後は、ファンではない方でもモータースポーツ等に興味を持つ機会を作るとともに、ラリー三河湾を活用し、観光地としての魅力を十分に伝えることで、一般の方も楽しめる観光コンテンツを検討していきたい。



松本昌成  
公明党市議員

感震ブレーカー設置の普及について

**問** 設置普及の啓発や助成制度を伺う。

**答** 認知度等を高めるため、ホームページで感震ブレーカーのページを設けている。国及び県の支援体制が整備されたときは、助成制度を整えていきたい。

婚活支援について

**問** 結婚新生活支援事業と活用予定を伺う。

**答** 本事業は、結婚に伴う新生活を経済的に支援するために、住宅取得費用や引越費用などを補助する制度であり、少子化対策だけでなく、若い世代の移住・定住にも寄与できる国の補助金である。他自治体の実施事例を参考に、本補助制度の活用検討を進めていきたい。

い。

認知症施策について

**問** ユマニチュードを取り入れた対応を伺う。

**答** 認知症サポーター養成講座では、認知症の人の接し方について、驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけないという心得のもと、実際に起こり得る事例から受講者自身にケア方法を考えてもらうことで、より良いケアにつなげている。ユマニチュードは、ケアを受ける人だけではなく、ケアを行う人にも良い効果があるとされているため、積極的に取り入れていきたい。

